

第3回震災遺構検討会議（大川小学校旧校舎） 概要

日 時：平成28年11月30日（水） 午後6時30分～午後8時30分

会 場：河北総合支所2階 会議室

概 要：

- (1) これまでの「震災遺構検討会議（大川小学校旧校舎）」の振り返りについて
 - ・第1、2回「震災遺構検討会議（大川小学校旧校舎）」で出された意見等について確認した。
- (2) 震災遺構（大川小学校旧校舎）の整備等に関する協議について
 - ・協議テーマ案「旧校舎及び敷地等に関する整備計画ゾーニング」について意見を交換した。

会議での主な意見

- ・来る人とは別の場所に慰霊碑を移設する。
- ・慰霊碑の場所を遺族会の会議で決める。
- ・公園内に管理棟を設置する。
- ・展示スペースを確保して、伝承する場所を開設する。
- ・数十年先まで伝えるために、分かりやすい形で保存・展示する。
- ・震災遺構エリア利用者と、静かに手を合わせられる場所を訪れる遺族の入口を分ける。
- ・震災前のように校舎を桜の木で囲う。
- ・校舎全体の補強やコーティングをする。
- ・不審者の侵入を考慮した対策をする。
- ・「大川小学校旧校舎」「旧門脇小学校校舎」「復興祈念公園」など、それぞれの場所の役割について発信する。
- ・市での防災対策を考える。
- ・慰霊と伝承の位置付けは分けて考える。
- ・解体を望む人のために見えないような配慮をする。
- ・安全に配慮して見学できるものを作り、避難ルートを提示する。
- ・早い段階で予算上の制約を共有し、前向きな議論をする。
- ・校舎内を見て学ぶ際の順路決めをする。
- ・卒業生の声、若い世代の声を反映させる。
- ・2階の天井や3・4年教室の床、倒れた渡り廊下は、津波の動き・威力が伝わる。
- ・川沿いの「大川地区」「北上地区」全体が被災し、地区民に多くの犠牲者が出た「遡上津波」の恐ろしさを伝える。